

## 足の外科研修プログラム

### 1. プログラムの名称

大阪南医療センター

リウマチ足の外科に卓越したリウマチ関節外科医育成のトータルマネジメント研修プログラム  
(プログラム責任者 橋本 淳)

### 2. 募集人数 :1-2名

### 3. 応募資格 :日本足の外科学会が定める応募規定に合致するもの

### 4. 選抜方法 :候補者に対し面接と書類審査を行う

### 5. 研修医の処遇

#### 1) 身分と賃金

非常勤医師 約318,000~498,000円/月 + 賞与年間最大72,000円

#### 2) 健康保険

全国健康保険協会管掌健康保険組合に加入

#### 3) 宿泊施設

有り(メゾンからたち(当院施設内)53,000~55,000円/月)

#### 4) 休暇

当施設の臨時職員として年度内に9~12日間

#### 5) 当直

指定された当直表に従って月2-3回、各当直指導医のもとに行う  
当直手当(20,000円-60,000円)が支給される

### 6. 研修の目標、基本方針およびプログラムの特徴

#### 1) 研修の目標

リウマチの薬物療法の進歩の中で、リウマチ患者の長期の歩行能維持のためにリウマチ足の卓越した技術が不可欠となってきた。人工股関節や人工膝関節の技術を学ぶ機会が多いが、本研修では学ぶ機会の少ないリウマチ足の外科の卓越した技術を身につけた上で、リウマチ患者が歩行機能の喪失に至る原因病変としての頸椎・腰椎・股関節・膝関節・足関節・中後足部・前足部・サルコペニア・骨粗鬆症のすべての問題把握技術の習得と治療計画をたてられるようになることを第一の部分目標とする。また、リウマチの内科的問題、リウマチの薬物療法、リハビリテーション、ケアを含むトータルマネジメントの考え方を身につけ、リウマチの全人医療を通じて医療人としてのプロフェッショナリズムを体得することを総合目標とする。

#### 2) 研修の基本方針

(1) 大阪南医療センターリウマチ関節外科は、大阪大学整形外科リウマチグループ最大のリウマチ関節外科基幹病院として、診療・教育・研究を、大阪大学整形外科と連携して行っている。その教育的強みを生かして、大阪南医療センターのリウマチ足症例だ

けでなく、大阪大学医学部整形外科、大阪労災病院整形外科でのリウマチ足症例も手術に入ることもある。

- (2) 毎週行われるリウマチ足の手術に助手として参加するとともに、全症例、事前に手術計画を自分で必ず立てる(模倣からの学習プロセス)
- (3) リウマチの外科でもっとも合併症の多い手術が足の手術であり、研修中に経験する合併症の治療に取り組む(機会を最大に生かす学習プロセス)
- (4) リウマチ前足部手術は術前計画から手術を執刀できる能力を身につける
- (5) リウマチ患者の他の関節手術、骨折手術に可能な限り入り、リウマチ患者に必要な手術全般を理解する。
- (6) リウマチ内科との週1回の合同カンファレンスに参加し、リウマチ膠原病の内科的問題点を学ぶ
- (7) リウマチ学のレクチャーコース、栄養カンファレンス、乾癬性関節炎カンファレンス等に参加し広く学ぶ
- (8) 学会や研修会に積極的に参加し、最先端の知識や技術を身につける
- (9) 医療内容や診療内容を正しく記録する習慣を身につける
- (10) 学会発表、学術論文の作成方法を学び、少なくとも年間1編の学会発表および論文作成を行う
- (11) 社会人、医師、整形外科医、リウマチ関節外科医として、「病気を治すのではなく病気で苦しむ患者を治す」というプロフェッショナルリズムの考え方や能力を身につける。

### 3) プログラムの特徴

本プログラムの期間は3ヶ月～1年間を基本とする。

リウマチ足・膝を専門とする常勤指導医の3名が主たる指導を行い、大阪大学整形外科のリウマチ関節外科グループ、大阪労災病院リウマチ関節外科グループの指導の機会も状況に応じて組み込み、リウマチ足の外科の最大の症例数の経験を積み研鑽を行う。またリウマチ足の外科の理解だけでは不足する全人的な治療の考え方を学ぶために、リウマチ上肢を専門とする医師、リウマチ内科医、整形外科股関節外科医、脊椎外科医の指導を受けることができる。

大阪南医療センター

リウマチ関節外科： 下肢担当・・・橋本淳、辻成佳、野口貴明  
上肢担当・・・秋田鐘弼

大阪大学整形外科 リウマチ関節外科グループ 平尾眞

大阪労災病院整形外科 リウマチ関節外科グループ 坪井秀規

## 7. 研修終了後の進路

研修医の自主性を尊重し、基本的には元の施設に復帰する